



拝啓、会員様～森協会長のひとこと～

気がつけばもう9月。早いもので37期も3ヶ月目に突入しました。

総会・卒会式・懇親会、トライアスロン、県総会、オフィシャル行事が目白押しだった7月、皆さん本当にお疲れ様でした。

続く8月、委員会・例会とも本来の意味でのスタートとなりましたが、8月例会二次会の雰囲気から察すると、素晴らしい一年になると確信しております。誰もがまずは己の成長を！そのパワーを結集し会の成長そして地域の成長へ！「時間は有限です。」すべての会員が悔いのない一年に…

9月例会に向けて



7月からの沢山の行事が終わり、いよいよ本格的に中央会の活動がスタートとなります。

9月は、そのエンジンともなる正副委員長による担当例会です。9月14日(水)にホテルサンルートホテル米子にて、人材育成研究所の足立博敏先生をお招きして実践コーチング研修を開催します。人は無限の可能性を持っています。その可能性を引き出すのがコーチングです。

職場ではもちろん家庭でも色々な場面で役に立つとてもすばらしいスキルですので、みなさん今から楽しみにして下さい。当日の例会はもちろん100パーセントの出席を目指していますので、会員皆様のご協力をお願いします。

(政治経営委員会 委員長 谷口弘毅)

ちょっと聞いてや!!

入会して早17年目に突入しました。会の活動が日々の生活に溶け込んでいる昨今ですが、そんな私にも心がけていることがあります。

入会2年目のころ、家庭でも職場でも外出したり早退するのは全部「中央会だから」の一言で片づけ、果てには自分の不始末でさえ会のせいにしてしまうありさまでした。ある日、当時の委員長から電話のせいにして呼び出しを受け、「俺はお前を1年間観てきたけど、なんでもかんでも中央会、家族もないがしろ、仕事もほったらかし、それでいいのか」「一に家族、二が仕事、背負うものがあるから仕事もがんばる。その後には中央会、それがわからないなら中央会なんかやめろ」と言われ、さすがに反省しましたが、委員長に言われたことを実行し自分なりに納得するまで数年かかりました。

卒会前のこの機会に、もう一度この委員長の言葉をハンサム紙面に載せてもらうことで気持ちを新たにしたいと思います。(監事:竹中和孝)

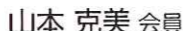
お誕生おめでとう



野口 敦^{あつし}司ちゃん (H23.2.12誕生)
野口 浩一^{あつし}会員の第2子

「次男が誕生しました。兄貴に負けなようにがんばれ。」

ご結婚おめでとう



山本 克美^{あつし} 会員

先月7月30日に入籍いたしました。挙式は今年の12月にハワイで行う予定にしております。今後とも、より精進していきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。

8月度委員会報告

人間力開発委員会 平成23年8月11日(木)於:米子コンベンションセンター 出席者/13名

- 議題/・役員会報告
・松江YEGとの交流事業について
・第1回人間力開発セミナー
講師・株式会社インタープロス代表取締役・竹上順子先生
テーマ「人間力を高める基礎」

政治経営委員会 平成23年8月10日(水)於:米子コンベンションセンター 出席者/12名

- 議題/・役員会報告
・マインドマップ講習
～経営分析にも使えるマインドマップを使って自己紹介する。

地域ビジョン委員会 平成23年8月8日(月)於:米子ニューアバンホテル 出席者/16名

- 議題/・役員会報告
・米子市役所 米子福祉保健部 障がい者支援課課長補佐 三森 秀明氏を講師に招いての講演

広報委員会 平成23年8月10日(水)於:中国料理 大連 出席者/18名

- 議題/・役員会報告
・ハンサム発行について
・文章構成及びビデオ講習について
・11月例会について

総務委員会 平成23年8月10日(水)於:サンルート米子 出席者/15名

- 議題/・役員会報告
・通常総会、卒会式、懇親会の反省
・10月例会について

9月役員会報告

9月役員会が平成23年9月1日(木)米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。
・8月例会報告 ・9月例会開催の件 ・10月例会開催の件
・県青中について

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

9月例会案内

と き:平成23年9月14日(水) 19:00~21:00
と ころ:ホテルサンルート米子
内 容:あだち人材育成研究所 代表 足立博俊氏
演 題:「話し上手は、聞き上手~相互理解と協調を実践しよう~」
担 当:37期正副委員長

編集後記

まだまだ暑い日が続きますね。益々、黒くなる一方です。最近、慣れないパソコンを勉強中です。毎日左手が吊りそうです。まだ片手打ちになりがちですが、頑張ります。(記事:野口)

新入会員

(広報委員会)

角 田 昭 生 A型
東亜ソフトウェア(株) マネージャー
ソフトウェア開発、ハードウェア/ソフトウェア販売、ネットワーク構築 等
〒683-0804 米子市米原9丁目3-8
TEL 34-3040 FAX 34-3554
H2308(23年度)入会 (K1) 090-2000-4194
(E) tsunoda@toasoft.co.jp
川端(今) S46.08生

(コメント)
8月に入会承認をいただきました角田です。なんでもやってみようという気持ちでおります。失敗することはあると思いますが先輩方の御指導を頂きながら、少しでも貢献できるよう頑張ります。よろしくお願致します。

成長 Handsome

Handsome CONTENTS September 2011

巻頭記事 **8月例会開催**
トライアスロン慰労会
ジュニアトライアスロンボランティア
OB訪問
小徳歯科医院 小徳 省三OB(第19期卒会)

委員会訪問 ~人間力開発委員会~
連載 拝啓、会員様
~森協会長のひとこと~

相互理解と協調
2011.09 No.276

特集 企業紹介
三井生命保険(株) 吉村 公男
連載
おすすめビジネス本 盛政 春樹
私のおすすめの一品 増井 幸一
中央会を振り返って 久保田 賢
ちょっと聞いてや!! 監事 竹中 和孝
9月例会へ向けて
政治経営委員会 委員長 谷口 弘毅

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

8月例会開催!!

平成23年8月17日 米子全日空ホテル

卒会年度会員及び平成23年1月以降の新入会員担当による8月例会が開催された。

冒頭、森協会長より、重要行事が続いた7月も会員の協力のおかげで成功に終わったことへの感謝が述べられ、「37期は個々が設定する目標を達成することを通して変化し、結果として当期のスローガンである成長を実現できるように期待している」と挨拶があった。

続いて、出産祝いの贈呈と新入会員へのバッジ授与が行われ、二男が誕生した野口浩一^{あつし}会員から、出産に立ち会った時の感動と喜びが報告され、新入会員の角田^{あつし}会員から、「会の活動を通じて、今期スローガンでもある成長できるよう頑張りたい」との挨拶があった。連絡事項では、トライアスロンに選手として出場した会員を代表して団体の部メンバーの拝藤^{あつし}会員から、「会員の皆様の応援のお陰でリタイヤすることな

く全員が完走できました」と感謝が述べられた。

今例会は2部構成でおこなわれ、第一部として 鳥取県知事 平井伸治氏を講師に迎え、「挑戦!未来づくりに向かって」~みんなでやらいや未来づくり~をテーマに基調講演が行われた。



先の東日本大震災の発生を受けて、県としてのこれまでの対応とこれからの対策の説明をされた後、現在県が計画を進めている「自然エネルギー活用先進県構想」、「北東アジアゲートウェイ構想」、「食のみやこ鳥取県事業」、「経済特区構想」、「大型コンベンションの計画」等の紹介と進捗状況の説明があり、最後にワールドカップで金メダルを獲得した「なでしこジャパン」の活躍を例に、「困難の時こそ若い力を結集して一緒に乗り越えていきたい」と締めくくられた。

終演後、当会を代表して土岐副会長から平井知事への謝辞とともに、青年経済

団体として、県と一緒に地域を未来予想図を描いていきたいとの決意表明があった。



第二部では、パネラーに第35期増井会長、第36期北口会長、第37期森協会長の歴代・現役会長に列席頂き、コーディネーターを浅中監事が務め、「地域と共に成長していくためには」をテーマに、討論会が開催された。第一部の講演を踏まえ、パネラーがこれまでの活動を振り返りながら、「民から官への提案がまだまだ不十分で、当会ももっと積極的にアイデアを提言していく必要があるのでは?」といった意見が上がった。討論会の最後に森協会長から、笑顔が最も大事との観点から、笑顔があふれる地域を目指していくのが大事なのは?との提言があり、8月例会は閉会した。



(記事:徳尾)

8月例会を終えて…

今回、卒会年度会員担当例会ということで、「見本になる例会を」と、非常に高いハードルを設定していただき、あえて難易度の高い内容でチャレンジさせていただきました。意気込みは強かったのですが、実際は鳥取県知事を招聘することの難しさ、スケジュールやリスク管理の難しさに翻弄され「皆さんに参考になる」とは程遠く、卒会年度とはいえ自己研

副会長 土岐 哲己

鑽させていただいた例会になりました。平成23年1月以降の新入会員さんにお手伝いいただきましたが、我々よりも確実にそれぞれの仕事をしていただき、頼もしく感じました。最後に、卒会年度の我々に記念になる事業を任せていただいたことに感謝します。そして、会員の皆さんがこの例会を「いろんな意味」で参考にさせていただけたら幸いです。

トライアスロン慰労会開催

平成23年8月17日 炉端かば米子店

8月例会閉会后、会場を炉端かば米子店に移し、第31回全日本トライアスロン皆生大会の慰労会を兼ねて懇親会が開催された。森脇会長から、例会を担当した今期卒会予定の会員と平成23年1月以降入会の会員への感謝と、トライアスロンに選手として参加した会員とボランティアとして参加した会員への慰労の言葉があった。続いて岩田専務理事より、「37期森脇丸は出港しました！乾杯！」の発声で乾杯し、開宴となった。



岩田AS部長、増井実行委員長）がそれぞれに大会での反省と成果、会員への謝辞等を述べた。続いて選手として参加した8名の会員を代表して、

長田副会長、谷口委員長、秋里会員から熱い感想が語られ、恒例の来年の参加者の決意表明が行われた。長田副会長から、「選手としての参加の際は真剣・慎重に！」とのアドバイスもあったが、ソロで出場を目指す秋里会員と、チームで出場を目指す白石会員、土岐副



会長、安岡会員、三輪会員、永井会員が紹介され、会員からは盛大な拍手にてエールが送られた。

中締めでは北口直前会長が、「トライアスロンをなめてもうたら困る」とのドスの聞いた挨拶があり、来年のトライアスロンでは実行委員長として頑張りたいとの発言の後、一本締めで閉会となった。
(記事:徳尾)



今月入会の角田会員が会での活動の意気込みを語り、その後、引き続きトライアスロン役員(牧田マラソン部長、手島ボランティア部長、

私のおすすめの一品

増井 幸一

「おすすめ」ということになると、私の場合鳥取県西部地域の自然ということになってしまいます。しかし、一品という事だと少し違いますので、ここでは「皆生ホテル」をご紹介します。

現在、私は営業職ですが、以前は建築施工技術職で現場の施工管理をしていました。その当時担当した中で、一番思い出深い作品になります。中央会OBの経営されるホテルで、建物の基本設計段階からOBとは、喧々囂々、あーでもない、こーでもないというやり取りしながらの仕事でした。中央会メンバーにも大変お世話になりながら建設出来た作品です。

県外のお客様とお話をする時は山陰地方の豊かさも紹介しますが、出張などでお越しの時に一度は、皆生ホテルをご利用いただくようお願いをしています。

ご利用になられたお客様は大変喜んで頂くことが多く、逆にお礼を言われる程です。地元の方でも、大切な方と特別な時間をお過ごしになられたり、ご両親へプレゼントされるなど『くつろぎをおすすめする一品』としていかがでしょうか。



企業紹介

三井生命保険(株) 吉村 公男

共働き家庭の増加、少子高齢化、公的年金への不安などを背景に、従来の死亡保障から「生きるための保険」へと、生命保険に対するニーズは近年大きな変化を遂げてきました。そしてこの転換期とも言える今日。こうした市場環境にあって、国内大手生命保険会社の中でも、少数精鋭のスリムな組織で時代の変化に柔軟に対応しているのが三井生命です。

米子営業部では現在15名の営業職員により、ご契約者さまをお守りしております。そして、お客さまの家庭環境にあわせて保険の相談をさせていただいております。

また、単に保険の相談相手というだけでなくご契約者さまの家族の一員として、(いろいろな相談相手として、)良きパートナーとしてお役に立てるよう心がけております。



お客さまの良きパートナーとして共に働いてみよう、という方も随時募集しております。保険のセールスというくりだけの仕事とは、一味違うやりがいのある仕事が出来ると確信しております。

おすすめビジネス文庫

紹介者:盛政 春樹 会員

『飛び込み営業の成功法則』

尾島 弘一 著



私がおすすめる本は、尾島弘一著『飛び込み営業の成功法則』です。総務を担当している私が「なぜ営業の本を？」と思われるかもしれませんが、企業はさまざまなセクションの連携で成り立っています。その連携の始まりは「営業」ではないでしょうか？《営業ができるスタッフは何でもできる》が私の持論です。会社に入社して今年で17年目、現場スタッフからスタートして現場管理→営業→総務として今日に至りますが、正直営業を経験するまでは、現場の業務内容に疑問を持つことも多々ありました。(世間知らずなだけでしたが・・・)しかし実際に営業を行ってみると当時抱いた疑問点は氷解、そして《 》の持論となりました。でも何の心構えもなく営業に行くと心挫けるスタッフの多いこと。そんな営業マンに是非一読を！

第17回 オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆 ボランティアに参加して

平成23年8月21日(日) 伯耆町総合スポーツ公園



オールジャパンジュニアトライアスロンに、ボランティアとして初めて参加しました。大会当日は朝から雨が降り、少し肌寒い中で開催となりましたが、会場は活気に溢れていました。

午前6時30分に受付を済ませ集合場所へと向いスタッフの方から説明を受け、バイクコース場のポイント立ちと情報医療という係を与えられ持ち場へつきました。簡単に説明すると選手たちのケガや事故、体調の変化を見守ることという大役です。

8時競技開始。スイムを終えバイクに乗り、コースへと出てくる選手たち。一生懸命な姿を見るたびに応援に力が入って、気づけば夢中で声援を送っていました。「頑張れ！」の声援に、はにかみ笑顔を見せてくれる選手。歯を食いしばる選手と様々でしたがゴールでは皆、達成感に溢れる最高の表情でゴールテープを切っていました。

た。競技終盤には雨も上がり、まるでエールを送るように太陽も顔を出していました。選手たちに怪我もなく、無事に終わることができ安心しました。

将来、この中の選手が皆生トライアスロンに出場し、活躍してくれることを願って帰路につきました。また来年も参加したいと思います。
(記事:野口)



OB訪問

小徳歯科医院 院長 小徳省三OB (第19期卒会)



今月は小徳歯科医院 小徳省三OB(第19期卒会)を訪問した。

中央会の思い出や、在籍13年で培われた経験などについて伺った。

入会当時は、異業種の集まり中でカルチャーショックを受けることもあった。

委員長を2期務められ、教育分野や地域の政治を考えるなど様々な取組みをされ、「経験が公私共にとても役立った。機会が

あるなら、一度は委員長の経験をする、自分の為にも会社の為にもなる。」と当時を懐かしむようにお話をされた。

また、昨今の経済状況の中での会社経営についてもお聞きした。

「開業して31年。中央会に籍当時は時代の良さがあつた。現在、世の中の厳しい経済状況や、同業種が増えたなどの要因もあるが、長年培ってきた信頼関係・人脈によって成り立っている。仕事は大変だが、生涯現役でありたい。」

最後に現役会員への一言として、「人との出会いを大切に。一生の友ができればよし。腹を割って話せる友を作りなさい。会社経営を成り立たせることを大前提とし、会社を大切に、中央会を大切に。人生に無駄はない。すべてのことに意味があるから何事の於いても考え、一生懸命やるのが自分の為になる。」と、思いを語っていただいた。ありがとうございました。
(記事:野口)

中央会をふりかえって... 久保田 賢 会員

第31期、武海会長年度に入会、『創生～夢を持って挑めば、必ず実現する～』がスローガンでした。32期福田会長年度『Try&Challenge～夢をかなえるために～』、33期中田会長年度『魅力』、34期水会長年度『Neo Standard』、35期増井会長年度『業 waza』、36期北口会長年度『輝』、そして卒会の37期森脇会長年度は『成長』がスローガンです。

年度毎にそれぞれの会長が熟考され、理念や目的を表したこのスローガンに少なからず影響をうけ、微力ながらもその助けになればいいかと考えた中央会も残りわずかになりました。

第31期入会から卒会年度第37期まで7年弱という短い期間でしたが、書記を3回、副委員長、県出向、そして委員長まで務めさせて頂きました。

その中でも思い出深いのは、委員長として“ビル・トッテン氏”を例会の講師としてお呼びできた事です。例会当日は、震災4日後でありトッテン先生が来られるのか危惧したり、2次会が中止になったり多少ドタバタしましたが、結果は成功かな？と思っております。



37期最終年度は森脇会長のテーマ「相互理解と協調」係わり合いを大切にし、笑顔で去って行きたいと思っております。

委員会訪問

～人間力開発委員会～

平成23年8月11日(木)米子コンベンションセンター第7会議室での人間力開発委員会にお邪魔しました。企業向けコンサルティング活動や全国に拠点を持つ企業に対する研修などを手がけておられる竹下順子先生を講師にお招きしての開催でした。

「人間力とは？」を皮切りに、特に人間力の基礎についてお話されました。特に家庭環境や家庭内でのしつけはとても重要で、自然と身につく知識などの蓄積が人間力の基礎となる、とお話されておられました。後半は質問形式で行われました。普段我々が行う機会が多い名刺交換については特に盛り上がり、実際にシュミレーション形式で行われ、僕自身も学びを沢山いただきました。終始和やかな雰囲気の中で行われましたが、後半の接客などのビジネスに直結することには会員全員の顔がピッと引き締まり、特に横山委員長の顔は引き締まり、



これからの森脇丸を全力でサポートする、そして委員長として責任を全うする強い意気込みを感じました。
(記事:宮崎)